

Press Release

2022年3月1日

女性工学系人材の育成支援 国立大学法人奈良女子大学と包括協定を締結

DMG森精機株式会社(以下、当社)は、国立大学法人奈良女子大学(以下、奈良女子大学)と3月1日に連携と協力に関する包括協定を締結しました。奈良女子大学 学長 今岡 春樹様と当社取締役社長 森 雅彦が出席し、調印式を行いました。

当社はこれまでも、奈良県、三重県、兵庫県と、地域振興や技術系教育の推進などで協働する包括協定を締結し、工業高校を含めた教育機関への最先端工作機械の貸与や、当社エンジニアによる加工ノウハウや最新技術に関する授業の実施など、学生が産業界の最先端機器で学習できる環境を提供してまいりました。

奈良女子大学は2022年4月に、女子大学で日本初となる工学部を開設されます。当社が2022年夏に開設する奈良商品開発センターにも程近く、当社から講師の派遣やマシニングセンター技術を活用したカリキュラムの考案、奈良商品開発センターでの実習などを行い、工学系の女性育成を支援してまいります。

さらに、奈良女子大学工学部 総合研究棟 H 棟のネーミングライツを取得し、2022年4月1日から2032年3月31日の10年間、「DMG MORI 棟(工学系 H 棟)」と命名する契約を締結いたします。

OECD(経済協力開発機構)の調査結果によると、日本は2019年に大学など高等教育機関に入学した学生のうち、工学を選択した女性の割合は16%です。加盟国平均は26%であり、調査対象国中、日本は最低水準となっています。日本全体で人口が減少し、特に理系分野の人材が不足する中、女性の活躍できる場所が限られており、まずは教育環境を整えることが非常に重要であると考えています。

今後、相互に連携強化を図ることで、工学系人材の多様性と、日本の技術力の底上げに貢献してまいります。



調印式の様子

以上